



御鎮座 2300年祭

神楽奉納

観覧
無料

団体名 / 羽佐竹神楽団 ほか

3.17 日曜日 12:30 - 15:30 開催場所 / 椿神社境内

演題1

お お え や ま 大江山

あらすじ

この演目は戻り橋、羅生門、大江山の酒呑童子という悪鬼が多くの手下を従えて立てこもり、悪事の限りをつくして庶民を苦しめていました。帝は当時、都の警護にあたった武名高き源頼光に、大江山鬼神征伐の勅命を下されました。山伏姿に変装した源頼光と四天王の一行は石清水八幡に参拝し、ここで神便鬼毒の御神酒を授かります。鬼の岩屋へ急ぐ一行は途中、都からさらわれて来た紅葉姫と出会い、童子の岩屋へと案内されます。一夜の宿を請う頼光と、



一行を疑う酒呑童子と間で激しい問答になりますが、頼光は宿を許されず。携えて来た御神酒を童子に振る舞い、酔い伏して眠った油断に乗じ、大激戦の末見事に討ち取るという物語です。

演題2

か つ ら ぎ さ ん 葛城山

あらすじ

大和の国葛城山に古くから住んでいたという土蜘蛛の精魂は、朝廷に従わず世を乱し抵抗を続けていました。時の朝廷に仕える源頼光が重い病氣にかかり、侍女・胡蝶に典薬の頭から薬をもらい受けるように申し付けたのを聞きつけた土蜘蛛の精魂は、胡蝶を襲い典薬の薬を毒薬にすり替え、頼光に飲ませ殺そうとします。四天王は土蜘蛛の流血のあとを追って、ついに葛城山にたどり着き、激闘の末、めでたく土蜘蛛を退治するという物語です。



演題3

や ま た の お ろ ち 八岐大蛇



あらすじ

高天原を追われた素戔嗚尊は、出雲の国 簸の川の川上で嘆き悲しむ足名椎・手名椎老夫婦と奇稲田姫に出会う。その訳を尋ねると、七年間に七人の姫を大蛇に取られ、一人残った奇稲田姫も今夜、大蛇に取られてしまうと。そこで素戔嗚尊は、大蛇の好むという酒を用意させ、酒樽の中に姫の姿を映し、大蛇に毒酒を飲ませ、酔いつぶれたところを十握の剣で退治する。大蛇の尾の中から出てきた剣を「天叢雲剣」と名付け、天照大神に捧げ、めでたく奇稲田姫と結婚するという物語である。

お問い合わせ先

伊豫豆比古命神社

〒790-0934 愛媛県松山市居相二丁目2番1号 TEL (089) 956-2000 FAX (089) 956-3323

URL / <http://www.tubaki.or.jp> e-mail / info@tubaki.or.jp